

研究課題名	急性期脳卒中患者における口腔アセスメントを活用した口腔管理が全身状態へ及ぼす影響の検討
倫理委員会承認番号	195
当院の研究責任者（所属）	松永一幸（歯科）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	脳卒中の急性期では感染症を合併する頻度が高く、その中でも誤嚥性肺炎のリスクが高いといわれている。肺炎予防を目的とした口腔ケアは重要である。そこで当院では口腔アセスメントツール（Oral Health Assessment Tool：OHAT）を導入し、多職種連携による口腔管理を行っている。このアセスメントを活用した口腔管理が全身状態へ及ぼす影響について調べることを目的とした。
調査データの該当期間	2017年4月1日～2019年3月31日
研究の方法（対象者）	当院に脳卒中で入院し、歯科受診をされた方
研究の方法（使用する情報）	年齢・性別・血液検査データ・日常診療の医科と歯科のデータなど。
試料／情報の他機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源（利益相反）	なし
備考	